



かがやく瞳

じょうぶな体の子ども
ゆたかな心の子ども
のびのび遊ぶ子ども

No. 31

発行日 令和8年2月5日
発行責任者 大江 學
編集 社会福祉法人
北見福祉会広報委員会
〒090-0835 北見市光西町 178-5
TEL 0157-57-5057
FAX 0157-57-4767

早いものであっという間に年度末を迎えようとしています。各こども園の活動もクラス毎にまとめの段階に入ってきました。特に年長の子ども達は、こども園で過ごす期間もあと僅かです。ご家庭や園での励ましにより、期待に胸を膨らませながらの卒園、各クラスの修了を迎えさせてあげたいものです。

*** 伝える言葉がけのコツ！～「ちゃんと…」は意外と難しい～ ***

ついつい子どもに「ちゃんとしなさい」、「しっかりしなさい」と言っていないませんか？大人にとっての「ちゃんと」や「しっかり」は、時と場合によって伝えたい内容が変わるので、子どもにとっては意外と難しいものです。

キーワードは、「代わりにする行動を示す」

例えば、子どもが寝転がっておやつを食べているときの「ちゃんと」とは、寝転がらずに座っておやつを食べてほしいという意味、シャツの裾が出ている場合の「ちゃんと」とは、シャツをズボンの中に入れてほしいという意味になります。



大人が“何度も言っているから当然わかるよね”と思う事でも、子どもがわかってくれるとは限りません。上記のような場合であれば、「座っておやつを食べてね。」「シャツをズボンに入れようね。」等、代わりにしてほしい行動をそのまま言葉にすることが大事です。この時、できるだけ短い言葉で伝えてあげてことを意識するとさらにわかりやすい伝え方になります。

『子どもが理解しやすいように、大人がしてほしいことを伝える』を意識するだけで、子どもの反応や行動が変わります！

話は変わりますが、「生涯で子どもと一緒に過ごせる時間」は、母親が7年6ヶ月程で父親は3年4ヶ月程だそうです。

子どもと一緒に生涯過ごせる時間を100%とすると、子どもが幼稚園に入園する3歳頃には、子どもと過ごす残りの時間の18%が既に過ぎてしまい、幼稚園を卒園する頃には32%。小学校に入り友達と過ごす時間も増え、小学校を卒業する頃には、55%と半分が過ぎてしまいます。やがて思春期になり、高校を卒業して18歳で親元を離れる頃には、73%が過ぎてしまうようです。

この数字を見ると、子どもと一緒に過ごす残された時間はあっという間に減ってしまうようです。残りの時間を大切に、子どもと一緒に充実した生活を過ごしていきたいものですね。

***** 子育て支援センターの取組 *****

光西認定こども園に併設している子育て支援センターは、0歳児から就学前のお子さんが親子で遊べる場です。また、保育教諭が、子育ての相談や遊びのヒント、ミニ講座など子育てに関する様々な情報を提供し、子育ての応援をしています。特にミニ講座や子育て支援事業では、これまで“イモ植え・イモ掘り” “公園で遊ぼう” “からだほぐしヨガ” “ぶどう狩り” “手作りおもちゃ”等を実施してきました。

12月23日には、ミニ講座で“クリスマス会”を実施しました。当日は、親子9組(20名)の参加があり、職員によるクリスマスソングの生演奏や歌、ゲーム、最後にはサンタよりクリスマスプレゼントをもらい、親子で楽しいひと時を過ごすことができました。



今後の子育て支援センターの事業予定については、本法人ホームページや光西認定こども園子育て支援センターにてご確認ください。今後も親子のふれ合い、交流の場として気軽にご利用ください。

各こども園での「こども達の様子」を紹介します

12月17・18日に、楽しみにしていた『ごっこ遊び』を行いました。3歳児クラスは“ちゅうりっぷの21アイスクリームやさん”、4歳児クラスは“ぐりとぐらのおかしやさん”、5歳児クラスは“ひまわりえんにち”を開店！店員さんとお客さんになってごっこ遊びの世界を満喫しました。



店員さんは、「いらっしゃいませ〜。」と、大きな声で呼び込みをしてやる気満々！お客さんは、3・4・5歳児で一組の“家族”になって色々なお店を回りました。その他に、くじやさんでガチャポンもして、お土産がいっぱいになった2日間でした。



（「ごっこ遊び」～夕陽ヶ丘認定こども園）

5歳児・ひまわり組が、給食後に毎日行っている『雑巾がけ』！ひまわり組に進級してすぐに、自分の名前を雑巾に刺繍して“マイ雑巾”を作り、そして、グループの子ども達が日替わりで、子ども達にとっては長〜い廊下の雑巾がけを行っています。



最初の頃は、まっすぐに進めなかったり、すぐに「疲れた〜。」と、腹ばいになるなど苦戦していた子ども達でしたが、今では「こっち



やるから、あっちやって〜。」と、声をかけながら分担して、きれいに雑巾がけをしています。

（「雑巾がけ」～光西認定こども園）

毎年恒例の12月実施予定の『おもちつき』が延期になり、1月8日に行うことができました。



子ども達は、朝からとっても楽しみにしており、ふかした餅米のいい匂いを嗅ぎ、「これがおもちになるんだあ！」と、興味津々です。♪も〜ちつきぺったんこ〜そ〜れつけぺったんこ〜♪の元気な歌に合わせて、お手伝いに来てくれたお父さん達の力強い餅つきの音が響きます。子ども達も大きな杵を持って、餅つきを楽しみました。



自分でついたお餅の味は格別だったようで、おかわりもいっぱいしていました。

（「おもちつき」～みなみ認定こども園）

子ども達のために職能の向上を目指して～【職員研修】

北見福祉会には100名程の職員が在職しています。職種は様々ですが、日々子ども達の健やかな成長を願って仕事をしています。



特に、直接子ども達に関わる職員は、よりよい教育・保育のために個々のスキルアップを目指して「3園合同研修」や「園ごとの研修」、「自己研修」に平日のみならず勤務終了後や休日も利用し、取り組んでいます。



12月には、「役員・職員研修交流会」を開催し、講師として本法人の大江理事長から講話をいただきました。また、夕陽ヶ丘・光西・みなみ園の各園で「公開保育」を実施し、施設関係者評価委員や他園、近隣学校の先生方等に各園の教育・保育の様子を参観していただき、大変貴重なご意見・ご示唆をいただくことができました。今後の教育・保育に活かしてまいります。